



かかわりを通して、一歩ずつ

校長 和田 幹夫

梅雨空が続き、晴れ間の恋しい毎日ですが、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、早いもので1学期も残り3週間、まとめの時期となりました。学年はじめに立てた自分やクラスの目標について、これまでの努力と成長を振り返りながら、学習、生活のまとめを充実していきたいと思えます。

さて、6月は「ふれあい月間」として、豊かな心を育み、いじめや不登校の未然防止等の充実を図るため、学年や学級で様々な取り組みを進めてきました。

1年生は、これまで大切に育ててきたアサガオの花が開き始めました。花が開いた子だけでなく、まわりの子もいっしょに喜んでいました。「私のアサガオ」が「私たちのアサガオ」になっているのを感じました。また、各クラスで「ありがとう」や「ふわふわ」言葉など、心が温まる言葉集めにも取り組んでいます。素敵です。2年生が育ててきたミニトマトや野菜がたくさん実をつけてきました。大切そうに実を穫り、持ち帰る姿は、小さな生命や、家で待つ家族を思う優しさにあふれていました。まち探検もスタートしています。3年生は、総合的な学習の時間、桜川のまちについてもっとよく知るために、フィールドワークに出かけました。改めて見つめ直すと、普段見慣れている町にも、「？」(疑問)や「！」がいっぱい。それから自分の課題を選択して追究していきます。4年生は、これまで天候に恵まれ、最も多くプールに入ることができました。しっかりとプールの約束を守りながら、自分にあつためあてをもち、みんなで協力して学習に取り組んでいます。5年生は、倉渕移動教室に行ってきました。雨の中での出発でしたが、ほぼ全行程を実施することができました(※クマ対策のため榛名富士登山はロープウェイに変更)。雨のやみ間を縫ってキャンプファイヤーも実施することができました。あの炎は、いつまでも子どもたちの心の中に残ると思います。初めての宿泊行事、みんなで役割を分担し、協力して過ごすことができました。そして、6年生は、1年生が心を込めて作ってくれたかわいらしい“てるてる坊主”といっしょに日光を訪れ、自然や伝統文化、そして友だちとのかかわりを深めてきました。てるてる坊主のおかげで、天候にも恵まれ、ほぼ全行程を実施することができました(※クマ対策のためナイトハイクは中止)。2泊3日の生活を通して、自ら考えずすんで行動する姿や、まわりの人への気遣い、お世話になった方々への感謝の言葉などが増えていきました。みんなでいつまでも心に残る思い出をつくることができたことと思えます。この他、全学年で読書月間やなかよし週間(6/30～)を通し、読書を通して豊かな心を育むとともに、異学年との交流も深めてきました。

人を思いやる心、生命を大切にする心、誰かのためにがんばる充実感、まわりの方の役に立ったり、友達から認められたりする喜び、力を合わせて一つのことに取り組むすばらしさや楽しさなどの、豊かな心は、「人や自然、社会とのかかわり」を通してこそ、育まれていくものだと考えます。7月も様々な人々や自然、社会とのかかわりながら学びを深め、一歩ずつ心を育んできたいと思えます。

かけがえのない尊い生命を守る

夏休み直前の7月、子どもたちが安全に充実した毎日を通すことができるよう、本校では、以下の二つの取組を実施していきます。

まず一つは「生命(いのち)の安全教育」です。性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を著しくふみにじる行為であり、心身に対し長期にわたり重大な影響を及ぼすものです。子どもたちが性暴力の加害者、被害者、傍観者に絶対にならないように全学年で実施します。自分だけの大切などを知り、自他を守るためのルールや、それが守られないときの対応方法、SNSを使うときの注意などについて、学年の段階に応じて学んでいきます。

なお、デリケートな内容でもありますので、配慮が必要な場合は担任までご連絡ください。

1年～4年…<内容>「自分の体」も「他の人の体」も大切。自分だけの大切など。いやな気持ち。

5・6年…<内容>自分だけの大切などを知る。自分と他の人を守るためのルール。自分と他の人との距離感が守られないときの対応方法。SNSを使うときに気を付けること。

もう一つは、「SOSの出し方教育」です。不安や悩みを自らの心に抱え込んでしまうと、大きないじめや長期間の欠席、生命に関わるような問題につながってしまうこともあります。できるだけ早い内に自分の不安や悩みを気付き、周りの信頼できる大人にSOSを発する力を、6年間を通して育んでいきます。